



- 2 第5回北栄アグリフォーラム 最善の選択を得意分野を持つ仲間とともに
農業川柳
- 3 町長と農業委員との意見交換会を開催
狩猟免許取得支援を検討
現在の農業委員の任期は、平成27年4月30日まで

- 農政委員会・農地委員会・広報委員会
- 4 新たな特産物に 古き良きものを受け継ぎ、新しき良きものを取り入れる
東高尾代参講 一人ひとりを想い、地域を想う
空き農地情報バンク 空き農地を確認
農業者年金 認定農業者の方は、忘れずに更新を

農を継ぐ 父の背中が 道しるべ ～作物とともにこの地に根を下ろして～
米里 田村威公久(たむらいくひさ)さん(34歳)

例年に比べ一足早い冬となり、外仕事が中心の梨農家にとっては慌ただしい作業が始まっています。大阪府出身の彼は学生時代に奥さんのまどかさんと知り合ったのがきっかけで、田村家に婿入りし義父の幹雄さんの手伝いから就農しました。自身の営農は1年余りで、梨作りの専門知識を得るために県立農業大学校で研修生として学びました。

田村家は、梨・柿が中心の栽培で親子が作業を分け、彼は1人で60aの梨と20aの柿を受け持っています。農繁期は家族の協力で乗り切り、26年度は初の収穫も経験しました。本人曰く、まだ日が浅く何をしてもワクワク・ドキドキの連続だそうです。年に1度の永年作物の栽培は日数も掛かり経験も年に1度、積み重ねが自分の肥やしになるものです。彼のような人材を地域、各関係機関は長い目で支援していく必要があります。それは、農業の町“北栄町”の原動力になることを期待するからにはかなりません。次のリーダーになってもらうことを期待しています。

前田浩明

第5回北栄アグリフォーラム ~最善の選択を~

実行委員長 竹信啓子



1月10日（土）に第5回北栄アグリフォーラムが開催されました。

今回のテーマは、「夢と希望が持てる農業～稼ぐ農業への挑戦～」講師にNPO法人農家のこせがれネットワーク創業者脇坂真史氏を迎え、「上手くいく六次産業化に必要な視点を事例から読み解く」と題して講演いただきました。

北栄町は、一次産業で十分食べていけるという考え方が大半だと思いますが、講師は、「誰もが六次産業化ということではなく、品目・規模等上手くいく視点がある。」と話しておられました。

農業者は消費者に新鮮で安全・安心なおいしい農産物を提供することに責任と誇りを持って取り組んでいます。今後は、さらに安定し、成長する農業経営を目指していくことが大切です。農業者も栽培・販売だけでなく、商工業との連携を図りながら、加工販売を進めていくことにより、農業の幅が広がり、所得の増大や地域の活性化に繋がっていくものと考えています。農業者をはじめ、町民みんなで「夢と希望が持てる農業の町・北栄町」を目指し、発展していくよう祈念します。

最後に、年に一度のアグリフォーラムに町民皆で“農業の町・北栄町”を考える日として、たくさんの方々にお集まりいただきたいです。



フローリスト西園
長いもせんべい
すいか糖、すいかジャム
メロングループ
お台場生みそ
焼肉のたれ
トマトグループ
焼肉のタレ、味噌
トマトケチャップ
ジュエリー
らっきょう甘酢漬
らっきょうピリ辛漬
味噌、ケチャップ



～得意分野を持つ仲間とともに～

実行委員 福光康男

記念講演でNPO法人こせがれネットワーク代表の脇坂真史氏は、「身近にできた優良な農産物を国の補助金があるからと売り出すと失敗する。」「先ずは、誰にどんな商品をどのように売るかをマーケティングすることが重要であり、更に、農業者が生産から加工まで全てを手掛けるのではなく、“餅は餅屋に任せ”失敗を最小限度にとどめる仲間を探すことが成功への秘訣」と語り、「6次産業化は焦らない！」と締めくくりました。また、全国から寄せられた336句の中から優秀作品11句が選ばれ、入賞者の表彰を行いました。ホールでは、町内の加工グループによる試食・販売が行われ、参加者は、思い思いの品を買い求めていました。

農業川柳 町長賞 子へ孫へ 笑って農業 続げる国
議長賞 嫁に来い かがやく農と 僕がいる

滋賀県 石畠秀高さん
静岡県 柳谷益弘さん

シリーズ 農業委員活動②

町長と農業委員との意見交換会を開催 ～狩猟免許取得支援を検討～

12月10日「町長と農業委員との意見交換会」を開催しました。会では、「北栄町農業の振興について」と題して、建議書に対する回答及び農業振興基本計画をもとに、有害鳥獣対策・狩猟免許取得への支援、婚活（婚姻活動）の中北部地区での連携について意見交換が行われました。



現在の農業委員の任期は、平成27年4月30日まで ～3年の任期を振り返る～

農政委員会 ～一人ひとりの疑問や問題点をはじめの一歩に～

農政委員 永田恭彦



農政委員会の活動の一つとして、建議書原案の作成があります。

様々な意見を集約し、建議書という一つの形にするわけですが、個人的には集約の過程に多くの成果を見い出すことができました。地域の部会等、農業者同士の会合は多々あるわけですが、あるテーマ・問題点について、それぞれ異なる立場や状況をもった農業者が意見を交わすという機会は意外と多くありません。町全体として、“農業に関する問題点の共有を図ることができた。”それ自体が確かな成果ではないかと考えています。

農業者のみならず、町民の皆さんが日ごろ考えておられる素朴な疑問や問題点について、ぜひ、身近な農業委員に相談してください。即時の問題解決には繋がらなくとも、問題点の共有により、解決の糸口が見えてくることがあると思います。

農政委員会 委員長 濱田陽一 副委員長 山下正美
委員 河原廣美 家森政男 坂本憲昭 永田恭彦 宇田川誠章 谷口廣志 遠藤忠充 濱坂良男

農地委員会 ～人から学び、自分らしい一歩を～

農地委員 前田榮久

農地委員会では、農地パトロールを年3回実施しました。また、議会産業建設常任委員会との遊休農地視察及び意見交換会を実施し議員に理解をいただきました。琴浦町農業委員会との意見交換会では、遊休農地解消の為の参考事例ポロタン（栗）の導入を学びました。その後、遊休農地解消に向けた取り組みとして、六尾北団地北側の遊休農地（7,800m²）を整地し、カボチャ・ひまわりの植付・収穫を行ないました。

今後も遊休農地の解消に向けてさらなる活動を行ない、北栄町の大切な農地を守ってまいります。

農地委員会 委員長 岸田一成 副委員長 杉川武士
委員 田中則重 木村悟 友定憲一 徳山克之 前田榮久 徳山隆敏 津川孝篤



広報委員会 ～一人ひとりの知りたいを形に～

広報委員 前田浩明



広報誌の発行に携わり、「菜種」が委員会広報誌として全国1位になった喜びはつい先日のことのようです。取材に答えて下さった方々、事務方のサポートには大変感謝しております。内容も当初に比べ充実し、多くの方からの問い合わせがあり、関わって良かったと思います。

一方、現場を見れば、水田は法人、集落営農も一層進みました。砂丘地のほうでは健康志向からの葉タバコの大減産、多くの面積が宙に浮いた形になりました。ラッキョウ・白ネギ・芝等が後を埋める形になりましたが、未だ多くの遊休農地があります。そんな中でも、町では新規就農者の経営・精神面をカバーするサポート事業を展開してくださり大いに助かっています。全国レベルでは、農地中間管理機構が農地の集約化を図ろうとしています。全ての農地が何らかの形で耕作されるのが願いです。後の祭りにならないようしっかりと知恵を出し合って故郷の農地、地元の農業を盛り立てていきたいと思います。

広報委員会 委員長 森本真理子 副委員長 前田浩明
委員 村岡昌美 福光康男 斎尾智弘 盛山由紀子

新たな特産物に ～古き良きものを受け継ぎ、新しき良きものを取り入れる～岩坪 徳山巖(とくやまいわお)さん



現在、アスパラガス 20a・梨 60a・稻・芝を耕作しておられます。

町の支援事業を活用し、ハウスと予冷庫を導入してアスパラガスを 6a拡大し、4万から 5 万束の出荷を目指しておられます。

研修等にも家族で行かれ研究熱心さが独自の取り組みを支えています。

今後もおいしいアスパラガスをどんどん出荷していただきたいです。

齋尾智弘

魅力ある中山間特産物等支援事業補助金 対象地域：北栄町栄地区

この制度は、地域の特色を活かした魅力ある特産物の導入や特産品の開発を行い、兼業農家や定年帰農者など担い手育成を図るとともに、中山間地の地域活性化と農地保全を行う方を支援するものです。

お問い合わせ先：産業振興課（北条庁舎）（36-5565）

東高尾代参講 ～一人ひとりを想い、地域を想う～



昔、流行病が出た時から、①伊勢神宮（三重）・春日大社（奈良）・石清水八幡宮（京都）、②廣峯神社（兵庫）・大元宗忠神社（岡山）、③出雲大社（島根）・美保神社（島根）の3か所を毎年くじ引きをして代参する者を各3名ずつ決め、室内安全・厄除け・豊作等の祈祷を代参してもらいます。その後、東高尾に帰って集落センターに講員全員が集まり、酒迎えという神事を行います。酒迎えは、集落センターに神棚を作り、代参で各神社に行った者と自治会長が祈念し、講員全員に御利益があるよう祈ります。それが終わるとお酒を飲みながら神様を迎えて、より御利益があるよう祈ります。今年は、1月17日・18日に伊勢神宮、廣峯神社に代参して祈祷をし、1月24日に酒迎えを行いました。

空き農地情報バンク

売買・貸借に至らなかった農地について、買い手・借り手を探しています。詳細は、「空き農地情報バンク」として農業委員会（北条庁舎）、町ホームページで閲覧できます。
※買い手・借り手の方については、耕作面積等、農家要件が必要です。
※右記については、掲載を希望された方の情報です。



今年も集落全員が健康で幸せの多い年になりそうです。

村岡昌美

《売りたい・貸したい》

No.	農地の所在	地目	面積(a)
1	松神鷺取(貸借)	畠	23
2	由良宿西外ヶ浜(貸借)	畠	12
3	江北下虻谷(貸借)	畠	11

【農業者年金】～認定農業者の方は、忘れずに更新を～

被保険者の皆さんへ

政策支援加入の方については、要件を満たしていない期間について、保険料補助を受けることができません。

①認定農業者で青色申告の方（区分1）、②（区分1）の方と家族経営協定を締結し経営に参画している配偶者または後継者の方（区分3）については、区分1の方の認定農業者更新を必ず行ってください。

お問い合わせ先：産業振興課（北条庁舎）（36-5565）・農業委員会（北条庁舎）（36-5567）

[編集後記]

今年は、農業委員の改選年です。3年の任期の間、各委員は農政委員会・農地委員会そして広報委員会と通常の業務とは別に3部会に分かれて活動してきました。農政委員会では、建議書の提出・農業基本条例の制定・婚活事業の実施。農地委員会では、農地パトロール及び農地適切利用啓発事業の実施。広報委員会では、年4回の広報誌「菜種」の発行を行ってきました。農業を取り巻く環境が厳しい中、農業委員会の使命は重大です。北栄町農業の発展のため、今以上に団結して役割を果たしていきたいと思います。

齋尾智弘